

**川崎フロンターレ公式サイトに
Web サイト自動翻訳クラウドサービス「My サイト翻訳」が採用されました！
～試合結果・選手情報などを母国語で即発信、ファン層の拡充をサポート～**

株式会社高電社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高 京徹)は、2021年12月15日より、当社開発による自動翻訳クラウドサービス「My サイト翻訳」(英語・中国語(簡体・繁体字)・韓国語・ポルトガル語・ベトナム語・タイ語)を、川崎フロンターレオフィシャルサイト (<https://www.frontale.co.jp/>) に提供致しました。

【「My サイト翻訳」導入の背景】

川崎フロンターレでは、これまでもサイト内の一部のページを多言語で表示していましたが、国内在住の外国人と海外の多くのサッカーファンの皆様から「試合結果や新着ニュースの情報を母国語で閲覧したい」というご要望があったことを受け、すべてのページをリアルタイムで翻訳する Web サイト自動翻訳サービス『My サイト翻訳』の導入を決定致しました。



【川崎フロンターレ 概要】

1955年に富士通サッカー部として創部し1999年にJリーグへ。加盟ホームスタジアムは中原区の等々力陸上競技場。エンブレムは川崎市の花 つつじ、チームマスコット イルカ、サックスブルーを基調としたチームカラーを基に、世界に向けて開かれた活力と魅力ある臨海都市 川崎をシンボライズしています。

国内タイトル

- ・ J1 リーグ：4回 (2017, 2018, 2020, 2021)
- ・ 天皇杯 JFA 全日本サッカー選手権大会：1回 (2020)
- ・ スーパーカップ：2回 (2019, 2021)
- ・ J1 フェアプレー賞：5回 (2012, 2015, 2016, 2017, 2018)

【My サイト翻訳とは】

Webサイトをワンクリックで多言語化することができる年間定額制の「Web サイト自動翻訳クラウドサービス」で、他社に先駆け2001年にいち早くリリースし、以来20年間にわたり主要省庁、自治体、企業、スポーツ団体などに幅広くご提供させて頂いています。Webサイトのデザイン、レイアウトを維持したまま英語・中国語(簡体字・繁体字)・韓国語の基本4言語のほか、欧州言語、東南アジア言語など、最大108言語に瞬時に自動翻訳します。また、翻訳ソフトウェアの開発元であるメリットを活かし、Webサイトの内容に応じて、AI翻訳と文法に基づく翻訳の2種類のエンジンから選択できる点が他社サービスとの差別化ポイントです。

サービス紹介 URL：<https://www.kodensha.jp/index/products/mysite/>

【 オフィシャルサイト内における「My サイト翻訳」の役割 】

川崎フロンターレオフィシャルサイトでは所属選手の紹介をはじめ、チームの魅力が詰まった様々な情報をファンの皆様に公開されています。(株)高電社の自動翻訳クラウドサービス「My サイト翻訳」は、機械による自動翻訳でありながらも非常に高精度であるにご好評をいただいております。その高い翻訳精度+リアルタイム性により、速報性を要する試合結果はもとより、試合終了後の選手コメントなどファンの皆様に喜ばれる情報を世界中の皆様へ瞬時に発信することが可能になりました。

2021年もJリーグ優勝を遂げられ更なる注目を集めている川崎フロンターレ様のファンの皆様、選手のご家族にも母国語で情報を発信することで、更なるファン層の拡充、サッカー界ひいてはスポーツ界全体の発展にご協力してまいりたいと考えております。

【 4種類のMy サイト翻訳サービス 】

- ・ My サイト翻訳 (文法ベースの翻訳エンジンと辞書機能で固有名詞を正確に多言語化)
- ・ My サイト AI 翻訳 (AI 翻訳で読みやすく精度の高い翻訳を実現)
- ・ My サイト翻訳プレミアム (My サイト翻訳の機能に加え、ドメイン維持やログイン認証に対応)
- ・ My サイト AI 翻訳プレミアム (My サイト AI 翻訳の機能に加え、ドメイン維持やログイン認証に対応)

【 株式会社高電社 】 (<https://www.kodensha.jp/index/>)

1979年創業。日本一のシェアを誇る中国語入力・辞書ソフトのロングセラー「ChineseWriter」をはじめ、多言語に関するソフトウェア、システム開発におけるリーディングカンパニー。1980年代から翻訳ソフトウェアの開発に着手し、その確かな技術力は官公庁、法人、教育機関をはじめとする各クライアント様から高い評価を得ているだけでなく、海外の世界的大手企業への納品実績も豊富に有しています。「言語の壁を越え、世界中の人々の心と心をつなぐ」という理念のもとに、機械翻訳した結果を人の手で修正するポストエディット分野にも進出し、人と機械の融合による最高品質の翻訳サービスを提供し続けて参ります。

リリース解禁日：2022年1月12日

[<本プレスリリースに関するお問合せ先>](#)

株式会社高電社 広報担当
(所在地) 〒102-0092 東京都千代田区隼町 2-13 プライムビル 3F
(TEL) 03-6705-5720
(E-mail) press-release@kodensha.jp